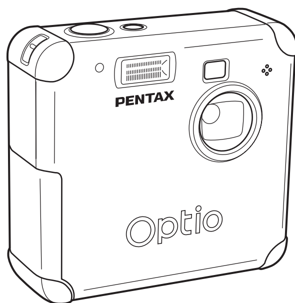
PENTAX

デジタルカメラ

Optio 43WR

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 43WRをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SDロゴは商標です。
PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
オプティオおよびOptioはペンタックス株式会社の商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridge について

「PictBridge」は、プリンタとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。



警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- AC アダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用下さい。専用品以外のACアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプタを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損・火災・感電の原因となります。



注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- ストロボ発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールド・ワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SD メモリーカードの取り扱いについては、「SD メモリーカード使用上の注意」（p.19）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニタの表面を強く押さないでください。

防水機能について

- このカメラは防水機能になっていますので、雨や水しぶきなどを気にせずにお使いいただけます。
- 水中撮影はできません。
- 使用後は、カメラについた水滴や汚れを早いうちに乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。
- カメラに大量の砂や泥がかかると故障の原因となりますので、浜辺などでは砂の上にカメラを直接置かないでください。
- カメラの内部は防水機能になっていません。必ず端子カバーやバッテリー／カードカバーが確実に閉まっていることを確認してからご使用ください。
  また電池交換や、メモリーカードの出し入れをする際は、カメラに付いた水滴や汚れをきれいに拭き取り、濡れたり汚れたりしやすい場所を避けてカバーを開閉してください。水・砂・泥などがカメラ内部に入ると、故障の原因になります。
- 汚れのひどいときや海水がかかったときは、電源が切れていること、端子カバーやバッテリー／カードカバーが確実に閉まっていることを確認してから、水道水を少し流しながら水洗いするか、底の浅い洗面器などに真水をため、短時間(２～３分)でカメラをつけ洗いしてください。
- 耐水設計になっておりませんので、長時間水中につけたり、高い水圧での水洗いは避けてください。
- 石けん水・中性洗剤・アルコールなどでの洗浄は、防水機能を損ないますので避けてください。コーヒーやジュースも防水機能を損ないますので、カメラに付かないようにご注意ください。
- 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってからご使用ください。パッキンやパッキンが当たる面に傷がついたり、へこんだり、パッキンがはがれると防水機能が損なわれます。このような場合、当社のサービス窓口にご相談ください。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの使い方など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去」「プリント」「画像の編集・設定」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

撮影モードを切り換えるバーチャルモードダイヤルの設定方法や撮影シーンに合わせて選択するピクチャーモード、さまざまな撮影の方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生

音声だけの録音と再生や、画像に音声を追加する方法を説明しています。

6 再生・消去

カメラ･テレビでのさまざまな再生の方法や消去のしかたを説明しています。

7 プリント

プリントサービス（DPOF）の設定方法、USBケーブルで直接プリンタと接続してプリントする方法を説明しています。

8 画像の編集・設定

撮影した画像サイズの変更やトリミングの方法、デジタルフィルタの使い方について説明します。

9 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

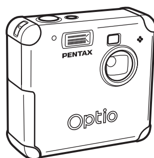
10 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

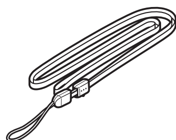
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。
P, , , , , , , , , SNAP, ,	タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。 例） P, , , , , , , , , SNAP, **シャープネスを設定する**

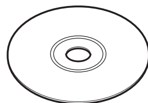
主な同梱品の確認



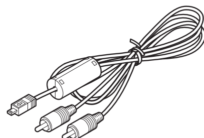
本体
Optio 43WR



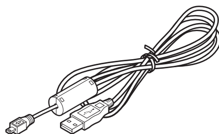
ストラップ
O-ST5（※）



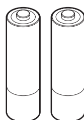
ソフトウェア
（CD-ROM）S-SW18



AVケーブル
I-AVC7（※）



USBケーブル
I-USB7（※）



単3電池（2本）



使用説明書
（本書）



使用説明書
(PC接続編）

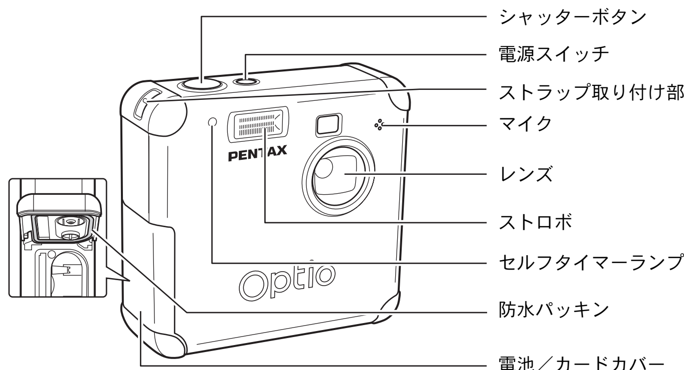


保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.116）をご覧ください。

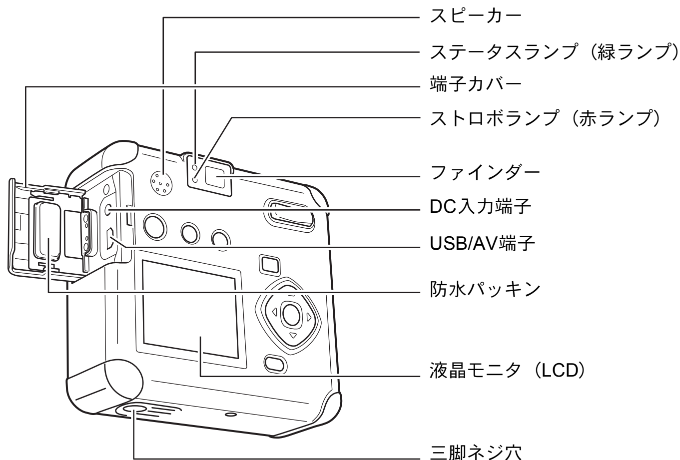
各部の名称

前面



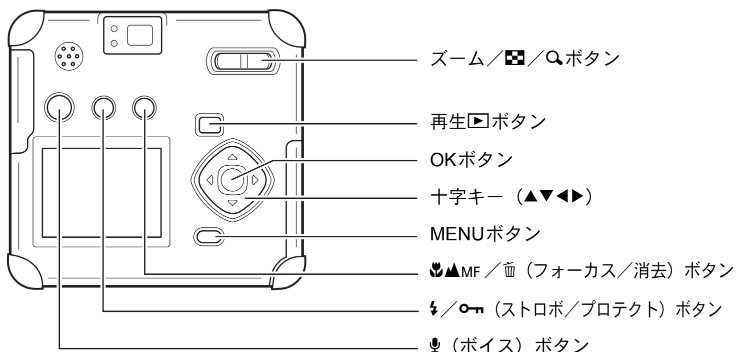
シャッターボタン
電源スイッチ
ストラップ取り付け部
マイク
PENTAX
レンズ
ストロボ
セルフタイマーランプ
Optio
防水パッキン
電池／カードカバー

背面



スピーカー
ステータスランプ（緑ランプ）
端子カバー
ストロボランプ（赤ランプ）
ファインダー
DC入力端子
USB/AV端子
防水パッキン
液晶モニタ（LCD）
三脚ネジ穴

操作部の名称

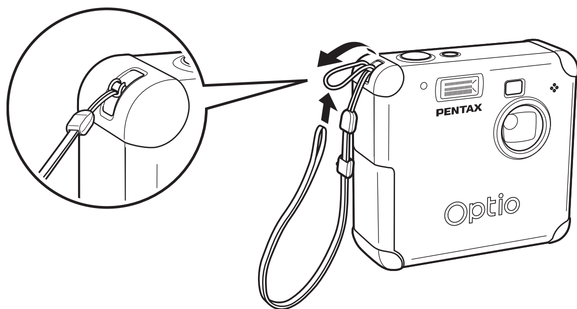


ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

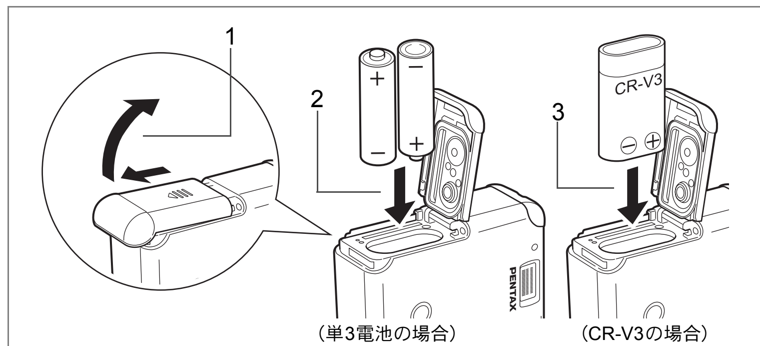
十字キー（▲）	▲	ズーム／⊞／🔍ボタン (デジタルズーム、拡大再生時のみ)	🔍
十字キー（▼）	▼		
十字キー（◀）	◀	🗑ボタン	🗑
十字キー（▶）	▶	⊶ボタン	⊶
MENUボタン	MENU	OKボタン	OK
シャッターボタン	SHUTTER		

ストラップを取り付ける



ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する



（単3電池の場合）　（CR-V3の場合）

電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池はCR-V3を1本か、単3ニッケル水素電池、単3アルカリ電池のいずれか2本を使用します。
電池をセットする前に、乾いた布でカメラの汚れや水気を拭き取ってください。また、濡れた手や汚れた手で電池を扱わないでください。

1　電池カバーを矢印の方向にずらして、引き上げる

2　電池の向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する

3　電池カバーを閉めて、水平方向に押し込む


長時間ご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）をご使用ください（p.15）。

注意
- 単3アルカリ電池、CR-V3は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池カバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれをすることがあります。
- 長時間電池を取り外して、新しく電池を入れたときに日時がリセットされていたら、「日時を設定する」（p.22）の手順に従って、設定しなおしてください。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

撮影可能枚数と再生時間（25℃・電池交換時）

●撮影（ストロボ使用率50%）

	撮影枚数
CR-V3	約 500 枚
ニッケル水素	約 300 枚
単3アルカリ	約 100 枚

●再生

	再生時間
CR-V3	約 360 分
ニッケル水素	約 230 分
単3アルカリ	約 140 分

• この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

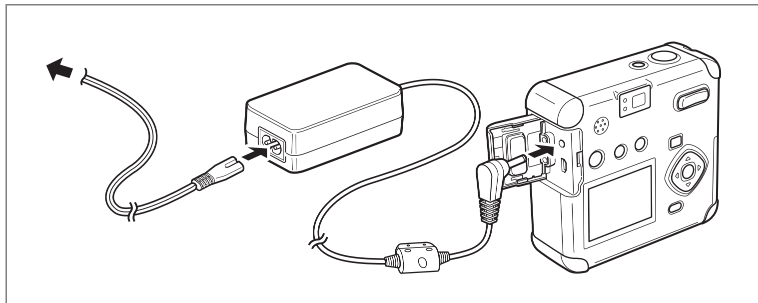


• 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下しますので、寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、一旦低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
• 単3アルカリ電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、CR-V3など他の電池の使用をお勧めします。
• 海外旅行、寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。
• 液晶モニタをオフにし、ファインダーを使って撮影すると、電池を長持ちさせることができます。

電池の残量表示

液晶モニタに表示された▯で、電池の残量を確認できます。

	（緑点灯）	：	電池がまだ十分に残っています。
	↓		
	（緑点灯）	：	少し減った状態です。
	↓		
	（黄点灯）	：	残量が少なくなった状態です。
	↓		
	（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
	↓		
「電池容量がなくなりました」		：	メッセージの表示後、電源オフとなります。



ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。

1 カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2 ACアダプタのDC端子を、カメラのDC入力端子に接続する

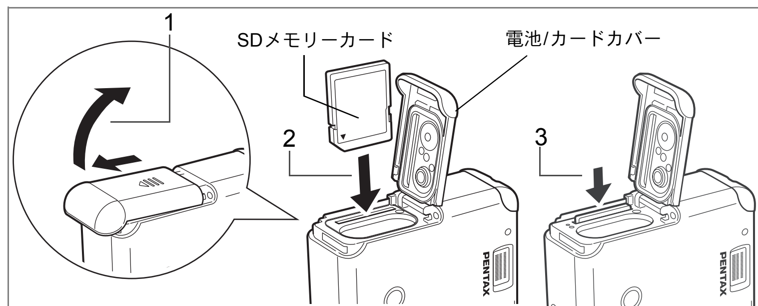
3 ACコードをACアダプタに接続する

4 コンセントに電源プラグを差し込む

注意

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行なってください。
- カメラやACアダプタ、ACコード端子、コンセントはしっかり差し込んでください。カメラがSDメモリーカードにデータを記録、または読み出している間に接続部が外れると、データが破壊されます。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC5Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- AC アダプタを接続しても、カメラ内の充電池を充電することはできません。

SDメモリーカードをセットする/取り出す



撮影した画像や録音した音声は、SDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
SDメモリーカードをセットする前に、乾いた布でカメラの汚れや水気を拭き取ってください。また、濡れた手や汚れた手でSDメモリーカードを扱わないでください。

1　電池/カードカバーを矢印の方向にずらして引き上げる

2　SDメモリーカードのラベル（▲印のある）面をレンズ側に向け、カチッと音がするまでしっかり押し込む

3　電池/カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込んでください。カードが少し飛び出したら、引き抜いて取り出してください。



撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります（☞p.18）。

注意

- 電源がオンのときに、電池 /カードカバーを開けると、強制的に電源オフになります。
- 画像を保存中に電池 / カードカバーを開けると、保存は中断されます（画像は保存されません）。

記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。
画像の記録サイズと画質の設定は、「撮影機能」メニューで行ないます。

記録サイズを選択する ☞p.38

画質を選択する ☞p.39

●選べる記録サイズと適した用途

2288x1712	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600x1200	はがきより少し大きいサイズでの印刷に適しています。
1024x768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640x480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、2288x1712が選択されています。

●選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています

初期設定では、★★が選択されています。

●記録サイズ/画質と撮影可能枚数の目安

＜静止画＞

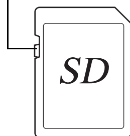
画質 / 記録サイズ	S.ファイン／★★★	ファイン／★★	エコノミー／★	ボイスレコーディング
2288×1712	約 5 枚	約 10 枚	約 15 枚	約 30 分
1600×1200	約 11 枚	約 20 枚	約 27 枚	
1024×768	約 25 枚	約 45 枚	約 56 枚	
640×480	約 53 枚	約 82 枚	約 100 枚	

＜動画＞

フレームレート / 記録サイズ	30 フレーム／秒	15 フレーム／秒
640×480	約 10 秒	約 25 秒
320×240	約 20 秒	約 40 秒
160×120	約 1 分 20 秒	約 2 分 30 秒

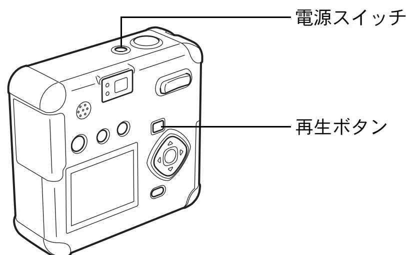
- 表の数値は、16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

●SDメモリーカード使用上の注意



- 電池／カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットしたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行なってください。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SD メモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカードをフォーマットする」（p.95）をご覧ください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SD メモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- メモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるか当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

電源をオン/オフする

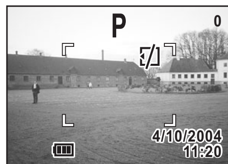


1　電源スイッチを押す

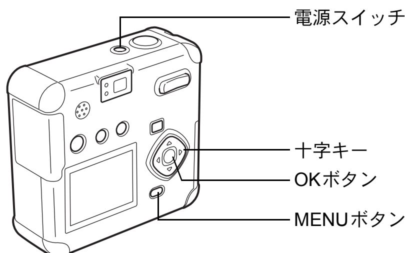
電源がオンになります。
もう一度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

カードチェックについて

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行なわれます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニタにが表示されます。またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、のかわりにが表示され、画像や音声の記録ができなくなります。



初期設定をする



カメラの電源を入れたときに、以下のような画面が表示されたら、☞の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Settings（初期設定）の画面が表示された場合］

☞p.21～p.23「言語を設定する」「日時を設定する」

［日時設定の画面が表示された場合］

☞p.22～p.23「日時を設定する」

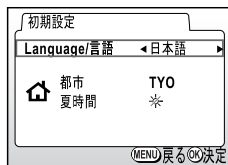
上記の画面が表示されない場合は、初期設定をする必要はありません。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（◀▶）を押して、「日本語」を選ぶ

「日本語」を選んだときにTYO（都市）、☼（夏時間）が右図のように表示されていたら、手順5に進んでください。



2　十字キー（▼）を押す

四角枠が都市に移動します。

3　十字キー（◀▶）を押して、TYO（東京）を表示させる

4　十字キー（▼）を押して、夏時間を選び、十字キー（◀▶）で夏時間をオフ（☼）に設定する。

5　OKボタンを押す

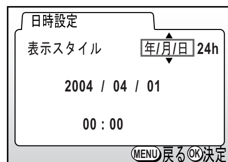
日時を設定する画面が表示されます。

1 準備

日時を設定する

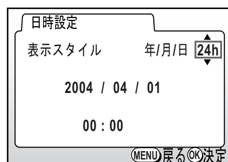
日時の表示スタイルと現在の日付／時刻を設定します。

1 **十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する**



2 **十字キー（▶）を押す**

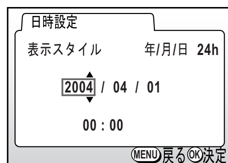
「24h」の上下に▲▼が表示されます。



3 **十字キー（▲▼）を押して、24h（24時間表示）または12h（12時間表示）を設定する**

4 **十字キー（▶）を押す**

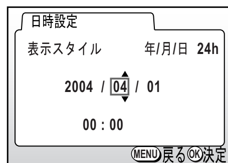
「西暦年」の上下に▲▼が表示されます。



5 **十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する**

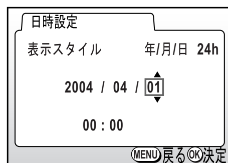
6 十字キー（▶）を押す

「月」の上下に▲▼が表示されます。



7 十字キー（▲▼）で月を設定し、十字キー（▶）を押す

「日」の上下に▲▼が表示されます。



8 手順 7 と同様の操作を繰り返して、「日」「時」「分」を設定する

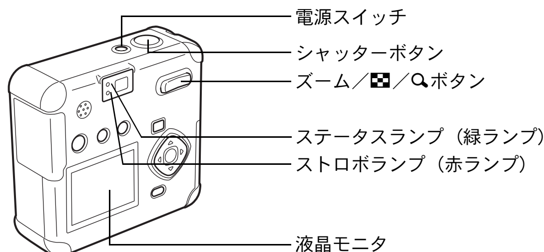
9 設定が終了したら、OKボタンを押す

撮影できる状態になります。メニュー操作で設定した場合はメニュー画面に戻りますので、もう一度OKボタンを押してください。

注意

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行なう画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後メニュー操作で変更することができます。メニューの呼び出し方は「日付の表示スタイル・日付/時刻を変更する」（p.98）をご覧ください。

静止画を撮影する



簡単に静止画を撮影します。初期設定では、ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

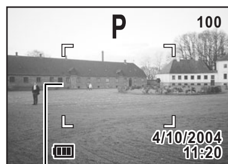
2　液晶モニタを見る

液晶モニタの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。

♠　被写体が大きく写ります。

♠♠♠ 被写体が小さく写ります。

ファインダーをのぞいて、被写体の大きさを確認することができます。



フォーカスフレーム

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4　シャッターボタンを全押しする

撮影した画像が液晶モニタに1.5秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカードに保存されます（SDメモリーカードに保存中はファインダー横の緑と赤のランプ（ステータスランプとストロボランプ）が交互に点滅します）。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）、ピント位置、露出、ホワイトバランスがロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。液晶モニタやステータスランプ、ストロボランプは次のような情報を表します。

1.**フォーカスフレーム**

ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは表示されません。

2.**ステータスランプとストロボランプ**

	ステータスランプ（緑）)	ストロボランプ（赤）
点灯	ピントが合っています	ストロボ発光表示
点滅	ピントが合っていません	充電中

ストロボ充電中は撮影できません。

●全押し

シャッターボタンを下まで押すと（全押し）、撮影されます。

[ピント合わせの苦手な条件]

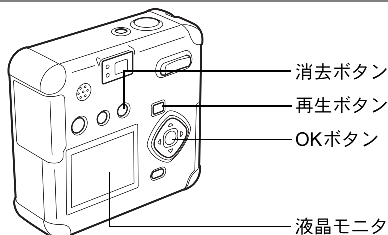
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときは一旦撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)したまま、構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」は1.5 秒間表示されます。クイックビュー表示中に🗑ボタンを押すと、「消去」メニューが表示されます。「消去」を選び、OKボタンを押すとその画像を消去することができます。

静止画を再生する



画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。



前後の画像を再生する

静止画を前後に一枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

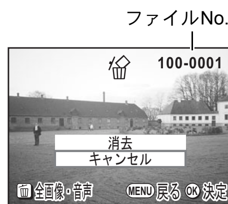
◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

拡大して再生する ☞p.73

表示した画像を消去するには

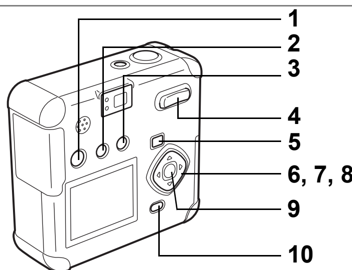
画像表示中に🗑ボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。





- 再生画面に切り替えると「ファイルNo.」の数字の最も大きい画像が最初に表示されます。
- 液晶モニタに表示された画像は、ズーム／⊞／🔍ボタンで拡大して見ることもできます。
- 動画は、1コマ目の画像が表示されます。
- 画像が保存されていないときは、「画像・音声がありません」と表示されます。

ボタンの機能を使用する



撮影モード時

1 🎙（ボイス）ボタン
ボイスレコーディングモードに切り替わります。（☞p.68）

2 ⚡（ストロボ）ボタン
ストロボの発光方法を切り替えます。（☞p.37）

3 🌷▲MF（フォーカス）ボタン
撮影方法を次のように切り替えます。（☞p.35）
マクロモード（☞p.35）、遠景モード（☞p.35）
マニュアルフォーカス（☞p.35）

4 ズームボタン
被写体の大きさを変えます。（☞p.57）

5 再生ボタン
再生モードに切り換えます。（☞p.34）

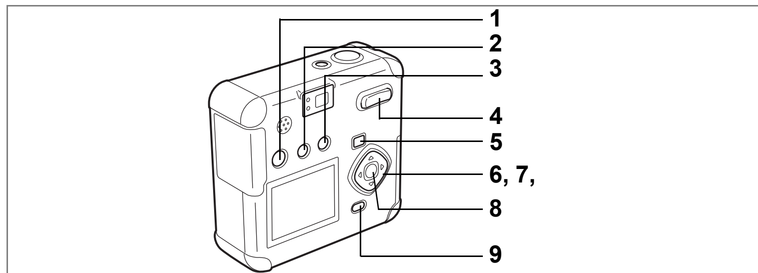
6 十字キー（◀▶）
露出補正をします。（☞p.59）

7 十字キー（▲）
連続撮影、セルフタイマー撮影を選びます。（☞p.53, 56）

8 十字キー（▼）
バーチャルモードダイヤルを表示して撮影モードを切り替えます。（☞p.34）

9 OKボタン
押すたびに画面に表示する情報を切り替えます。
メニュー項目を決定します。

10 MENUボタン
「撮影機能」のメニュー項目を表示します。（☞p.30）



再生モード時

1　🎙（ボイス）ボタン

伝言メモを設定・再生します。（☞p.71、72）
ボイスメモを開始、終了します。（☞p.70）

2　O‒π（プロテクト）ボタン

画像を消去できないようにします。（☞p.80）

3　🗑（消去）ボタン

画像を消去します。（☞p.77）

4　ズーム／▦／🔍ボタン

「通常再生」時に▦を押すと、一度に9画像を表示します。（☞p.74）
「通常再生」時に🔍を押すと、液晶モニターに表示される画像の大きさを変えることができます。（☞p.73）

5　再生／▶ボタン

撮影モードに切り換えます。

6　十字キー（◀▶）

前後の見たい画像を表示します。（☞p.26）

7　十字キー（▲）

DPOFの設定を行ないます。（☞p.83）

8　OKボタン

押すたびに画面に表示する情報を切り替えます。
メニュー項目を決定します。（☞p.30）
「拡大再生」「9画像表示」時にOKボタンを押すと、「通常再生」の画面に切り替わります。（☞p.73、74）

9　MENUボタン

「再生機能」のメニューを表示します。（☞p.30）

MENUを設定する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容をメモリ（保存）したり、カメラの設定を変更することができます。

メニューの操作方法

メニュー画面は、内容の種類によって「撮影機能」メニュー、「再生機能」メニュー、「詳細設定」メニューの3通りに分かれます。
撮影モードからメニューを表示させると「撮影機能」メニューが表示され、再生モードからメニューを表示させると「再生機能」メニューが表示されます。

1　撮影モードまたは再生モードでMENUボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀▶）でメニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

十字キー（▲▼）で選択枠が上下に移動します。

4　十字キー（◀▶）で設定を切り替える
（選択画面がある機能［ホワイトバランス等］では、十字キー（▶）で選択画面に移行する）

設定が終了したら、OKボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

5　OKボタンを押す

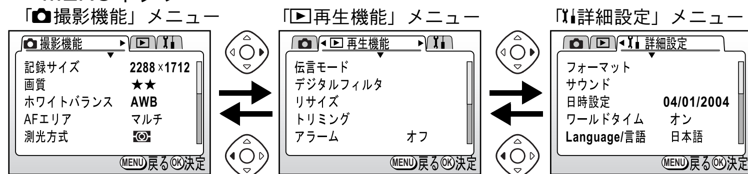
設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

注意

- OKボタンを押して設定を保存する前に、OKボタン以外のボタンを押してメニュー画面を閉じると、設定は保存されません。
- OKボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源をオンにしたまま電池を取り出したりするなど誤った操作で電源をオフすると、設定は保存されません。
- メニューの操作中に、メニューに関係のないボタンを押すと、設定を変更しないでメニューを終了します。
- メニューを表示してから、何も操作しないで1分経過すると、設定を変更しないでメニューを終了します。

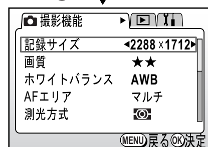
操作の一例（撮影モードでMENUボタンを押した場合）

1 MENUボタン

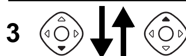


2

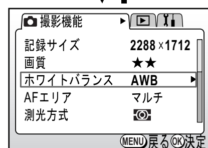




3

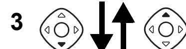


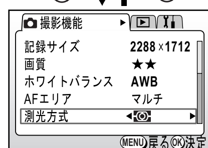
4 選択画面





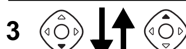
3







3



次のメニュー画面



- メニュー表示中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードに切り替わりますが、設定は保存されません。

メニュー一覧

「撮影機能」メニュー

項目	内容	初期設定	参照
記録サイズ	画像の画素数が選べます	2288×1712	p.38
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	p.39
ホワイトバランス	光源の状態に合わせて画像の色合いを調整します	AWB（オート）	p.40
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲を変更します	マルチ	p.42
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します	（分割測光）	p.43
感度	感度を設定します	オート	p.44
デジタルズーム	デジタルズームを使用するか使用しないかを設定します	オン	p.58
インターバル撮影	設定した時間間隔で撮影します	–	p.54
動画	動画の記録サイズ、カラーモード、フレームレート、早送り動画を設定します	–	p.60
モードメモリ	メニュー操作で設定した内容を、電源オフ後も保存しておきます	–	p.66
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	p.45
彩度	彩度を設定します	標準	p.46
コントラスト	コントラストを設定します	標準	p.47

「再生機能」メニュー

項目	内容	参照
伝言モード	伝言モードを設定します	p.72
デジタルフィルタ	撮影済みの画像をフィルタ処理します	p.93
リサイズ	画像のサイズを変更します	p.90
トリミング	画像をトリミングします	p.92
アラーム	決まった時刻にアラームを鳴らします	p.106
スライドショウ	保存された画像を連続して再生します	p.75

「🔧詳細設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードをフォーマットします	p.95
サウンド	ボタン操作音、起動音、シャッター音、セルフタイマー音の音量や種類を設定します	p.96
日時設定	日付/時刻、表示形式を設定します	p.98
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	p.99
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	p.100
USB接続	USB接続時の転送モード（PC／PictBridge）を設定します	p.100
画面設定	起動画面や背景色、液晶モニタの明るさを設定します	p.101
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します	p.103
クイック消去	オンに設定すると「消去」「全画像・音声消去」が選択された状態で消去画面が表示されます	p.103
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで画像を最大倍率（8倍）で再生するように設定します	p.104
クイック起動	オンに設定すると、電源オフの状態からシャッターボタンを押すだけで起動してスナップモードで撮影できます	p.104
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします	p.105
リセット	設定を初期値に戻します	p.105

撮影のための機能を設定する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

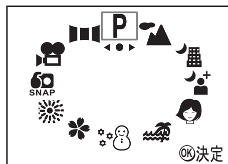
撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モードを選ぶ

撮影モードはバーチャルモードダイヤルを表示して選択します。12種類の撮影モードがあります。

P	プログラム		シャッター速度と絞りをカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。	p.48
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.49
		夜景	夜景など暗いシーンをきれいに仕上げます。	
		夜景ポートレート	暗いシーンでの人物をきれいに仕上げます。	
		ポートレート	人物をきれいに仕上げます。	
		サーフ	砂浜などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	
		スノー	雪山などの反射の多い場所での写真をきれいに仕上げます。	
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		花火	花火の写真をきれいに仕上げます。	
SNAP		スナップモード	他の人に撮ってもらうときに、きれいに仕上げます。	
		動画モード	動画を撮影します。	p.60
		パノラマアシストモード	パソコン上でパノラマ写真を作成する元となる画像を撮影します。	p.51



1 **撮影モードで十字キー（▼）を押す**

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2 **十字キー（◀▶）で設定したいモードを選ぶ**

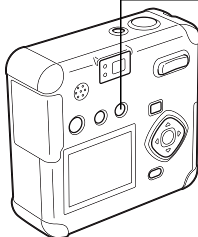
絵記号が四角の枠で表示されます。

3 **OKボタンを押す**

選んだ撮影モードのアイコンが表示され、撮影できる状態に戻ります。

注意

フォーカスモードを「マニュアルフォーカスモード」に設定していると、十字キー（▲▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、バーチャルモードダイヤルを表示できません。🌷▲MFを押してオートフォーカスモードなどに変更して、十字キー（▼）で切り替えてください。



フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

（表示なし）	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が30cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が50cm以内のときに使用します（ズームボタンの広角側では1cm～50cm、望遠側では20cm～50cm）。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

4 撮影

1 撮影モードで🌷▲MF ボタンを押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値のアイコンが液晶モニタに表示されます。

設定したフォーカスモードで撮影できます。



- 動画モード（☞p.60）では固定焦点になります。
- 「マクロモード」でストロボを使用すると、露出オーバーになることがあります。



フォーカスモードを「マクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれます。必ず液晶モニタで確認してください。

マニュアルでフォーカスを設定する

マニュアルフォーカスモード（MF）時は、十字キー（▲▼）を押すと画面中央部の枠が液晶モニタいっぱいに拡大表示されます。
表示されたモニタ画像を見ながら、十字キー（▲▼）でピントをあわせます。画面の左には、フォーカス位置を示すバーが表示されます。

 遠くにピントが合います。

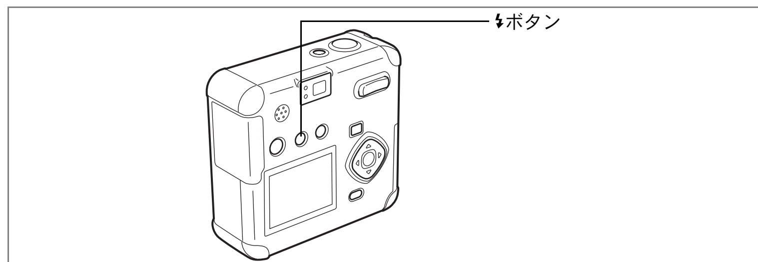
 近くにピントが合います。

フォーカス位置が決まったら、十字キー（▲▼）以外のボタンを押すか、または十字キーから指を離して約2秒たつと、通常の撮影画面に切り替わります。



- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。

フォーカスモードを保存する☞p.66



ストロボの発光方法を選択する

（表示なし）	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
	発光禁止	明るさにかかわらず常にストロボは発光しません。
	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。



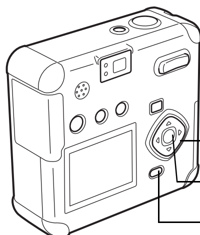
- 撮影モードが（動画）にセットされているか、連続撮影、遠景モード、または花火モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ撮影時には、測光のための補助光として撮影前に必ずストロボを一度発光させます。
- 「オート＋赤目軽減」または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前に、瞳を小さくさせるためにストロボを一度発光させ、少し間をおいてからストロボ撮影をします。
- ストロボを使用しない場合や、夜景などの暗い場所での撮影では、シャッタースピードが遅くなります。カメラがぶれないように、三脚をご使用ください。

1 撮影モードでボタンを押す

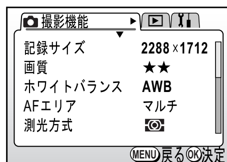
押すたびに発光方法が切り替わり、マークが液晶モニタに表示されます。
設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボランプの状態☞p.25
ストロボ発光方法を保存する☞p.66

4
撮影









記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「2288×1712」「1600×1200」「1024×768」「640×480」から選べます。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。
また、画像の容量は設定している画質によっても異なります。

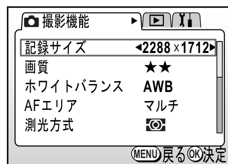
2288×1712	A4サイズでの印刷などに適しています。
1600×1200	はがきより少し大きいサイズでの印刷に適しています。
1024×768	はがきサイズでの印刷などに適しています。
640×480	電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える

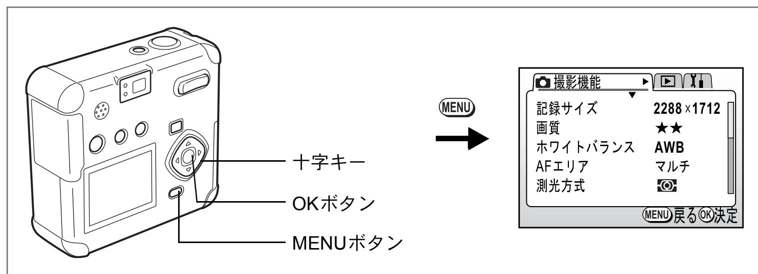


4 OKボタンを押す

撮影ができる状態になります。



- 「動画モード」では「640×480」、「320×240」、「160×120」から選べます。
- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。





画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画質はきれいになり容量も増えます。
また、画像の容量は、設定している記録サイズによっても異なります。

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

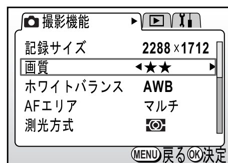
「撮影機能」メニューが表示されます。

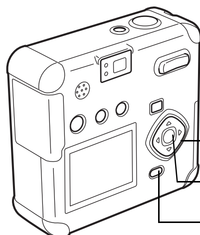
2　「撮影機能」メニューの「画質」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で画質を切り替える

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



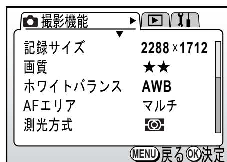


十字キー

OKボタン

MENUボタン

MENU





ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色あいに調整できます。

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

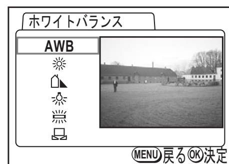
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。



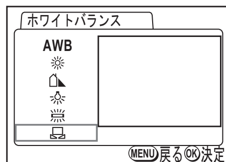
4 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

5 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.66

マニュアルで設定する



1 ホワイトバランス選択画面で （マニュアル）を選ぶ

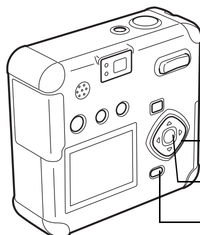
2 白い紙等を画面いっぱいに入れる

3 OKボタンを押す

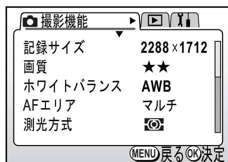
液晶モニタに「調整中」と表示されます。調整が完了すると、「完了」と表示され、メニュー画面に戻ります。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態に戻ります。









オートフォーカス範囲を設定する

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を変更できます。

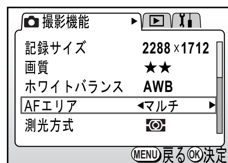
マルチ	通常範囲
スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でAFエリアを切り替える



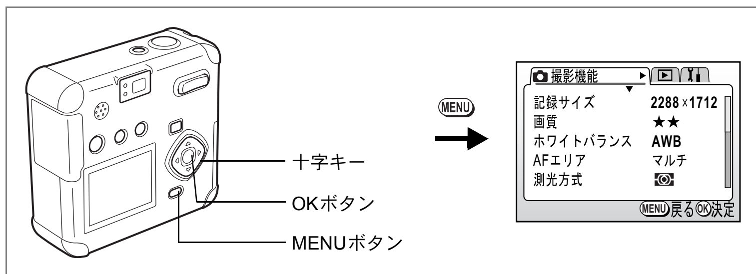
4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



マルチに設定すると、シャッターボタンを半押ししたときに、ピントの合った位置でフォーカスフレームが点灯します。

4 撮影





測光範囲を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

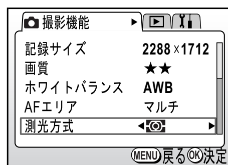
(分割アイコン)	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
(中央部重点アイコン)	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
(スポットアイコン)	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　「撮影機能」メニューの「測光方式」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で測光方式を切り替える

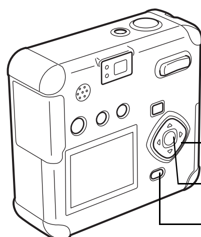


4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.66

4
撮影

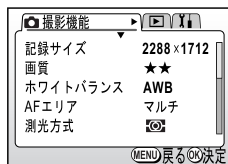


十字キー

OKボタン

MENUボタン







感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

オート	設定をカメラにまかせます。
50	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

1 撮影モードでMENUボタンを押す

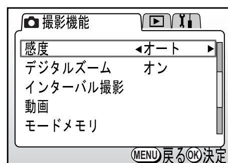
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「感度」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で感度を切り替える

4 OKボタンを押す

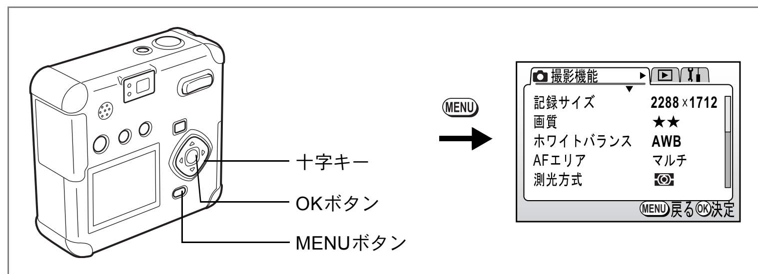
撮影できる状態になります。





オートで設定される感度は50/100/200のみになります。

感度設定を保存する☞p.66





シャープネスを設定する

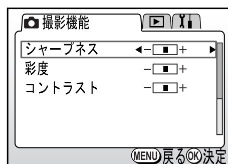
画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

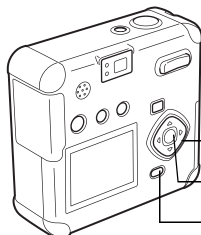
2 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で（標準）、（ハード）、（ソフト）を切り替える

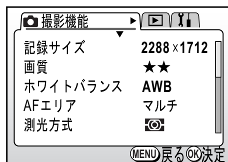


4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。









彩度を設定する

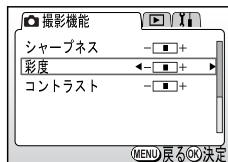
色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2　「撮影機能」メニューの「彩度」を選ぶ

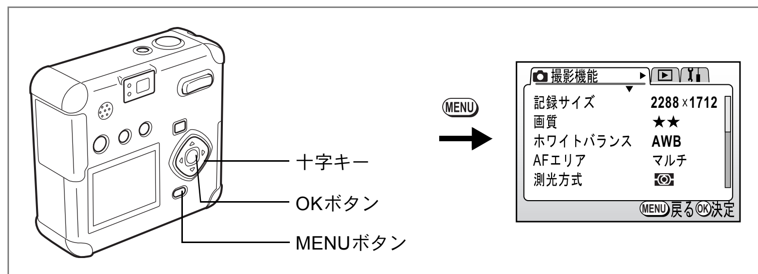
3　十字キー（◀▶）で（標準）、（強）、（弱）を切り替える



4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4 撮影





コントラストを設定する

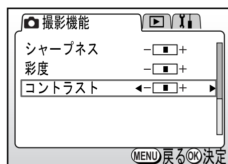
画像の明暗差を設定します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選ぶ

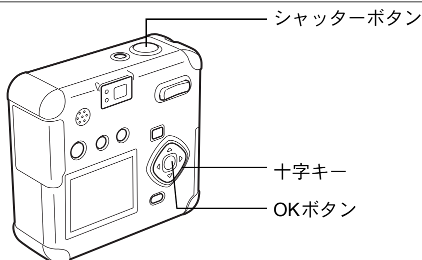
3 十字キー（◀▶）で（標準）、（強）、（弱）を切り替える



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

撮影する



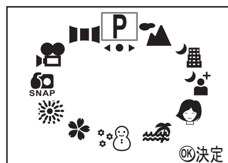
機能を設定して撮影する（プログラムモード）

プログラムモード**P**では、すべての機能を設定して撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（◀▶）でプログラムモードPを選ぶ



3　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

4　使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.34～p.47）をご覧ください。

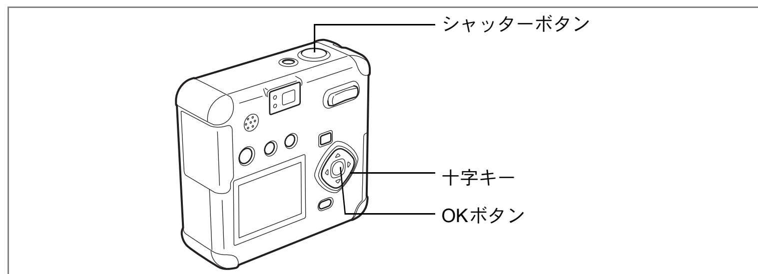
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.24



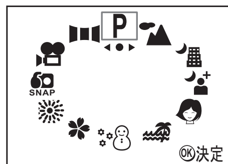
シーンにあわせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンにあわせた設定で撮影します。

ピクチャーモードについて

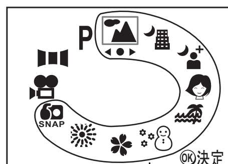
ピクチャーモードには、以下の9つのモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	夜景	夜景など暗いシーンをきれいに仕上げます。
	夜景ポートレート	暗いシーンでの人物をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物をきれいに仕上げます。
	サーフ	砂浜などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	スノー	雪山などの反射の多い場所での写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	花火	花火の写真をきれいに仕上げます。
SNAP	スナップモード	他の人に撮ってもらうときに、きれいに仕上げます。



1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



ピクチャーモード

2　十字キー（◀▶）で好みのピクチャーモードを選ぶ

例として、ここでは「風景」を選択します。

3　OKボタンを押す

ピクチャーモードが選択されます。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

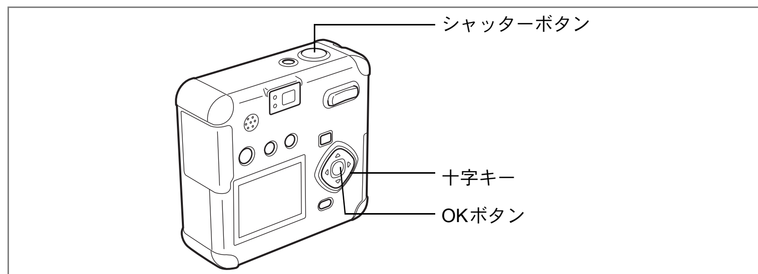
撮影されます。



ピクチャーモードでは、露出補正、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの最適な値に設定されます（設定値は変更することができます）。



「夜景」「夜景ポートレート」「花火」では、カメラぶれを防ぐため、三脚等に固定して撮影してください。

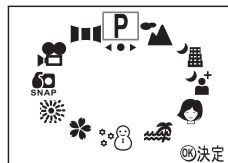


パノラマ撮影をする（パノラマアシストモード）

付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX, ACD PhotoStitcher）では、何枚かの写真をつなぎ合わせて、簡単にパノラマ写真を作成することができます。パノラマアシストモードで画像の端と端が重なるように撮影した写真をソフトウェア上でつなぎ合わせると、1枚のパノラマ写真に仕上がります。

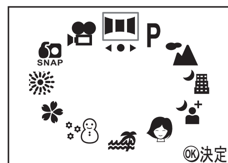
1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

バーチャルモードダイヤルが表示されます。



2　十字キー（◀▶）でパノラマアシスト（▮▮▮）を選ぶ

3　OKボタンを押す



4　十字キーでつなげる方向を選ぶ

◀ 画像を左につなぎます。
▶ 画像を右につなぎます。
▲ 画像を上につなぎます。
▼ 画像を下につなぎます。
ここでは▶を選んだ場合について説明します。



4
撮影

5 1枚目の画像を撮影する



シャッターボタンを押すと1枚目の画像が撮影され、1枚目の画像の右端が液晶モニタの左端に透過表示されます。

6 カメラを右に移動し2枚目の画像を撮影する



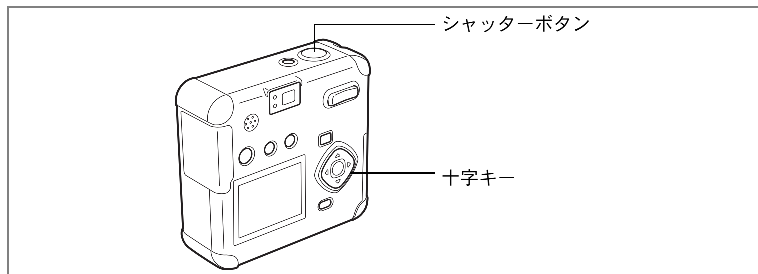
実画面表示が左端の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。3枚目以降の画像も、手順5、6を繰り返して撮影します。
画像をつなげる方向を変えるには、手順1からやり直してください。



パノラマ撮影を中止するには､パノラマアシストモード以外のモードに切り替えてください。

注意

- パノラマ合成はカメラ本体ではできません。付属のソフトウェア（ACDSee for PENTAX, ACD PhotoStitcher）を使用します。パノラマ合成については、別冊の「PC接続編」を参照してください。
- パノラマアシストモードでは、連続撮影、インターバル撮影はできません。
- クイックビューでの画像の消去はできません。



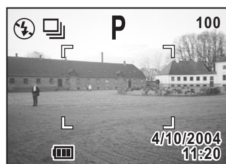


連続して撮影する（連続撮影／マルチ連写）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
連続撮影とマルチ連写撮影の2種類があります。

❏	連続撮影	撮影・画像処理・保存を行ないながら撮影します。
⊞	マルチ連写撮影	4コマ連続して撮影を行ない、1枚の画像として保存します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して液晶モニタに❏または⊞を表示させる



2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

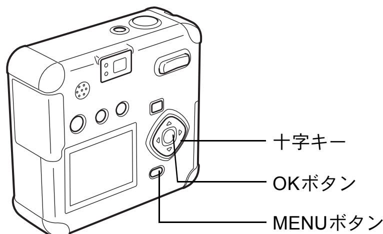
静止画を再生する☞p.26



- SDメモリーカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。



- 連続撮影・マルチ連写では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、パノラマアシストモード、夜景モード、夜景ポートレートモード、花火モードでは、連続撮影・マルチ連写を利用できません。





設定した時間間隔で撮影する（インターバル撮影）

④ 撮影

一定の時間間隔で静止画を自動的に撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに を表示させる

2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニタのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

下記の設定でインターバル撮影が始まります。

・撮影間隔（デフォルト） 10秒
・撮影枚数 2枚
・撮影開始時間 0分後

撮影が終了すると、カメラの電源が自動的に切れます。

撮影間隔、撮影枚数、撮影開始時間を設定する

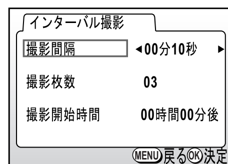
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「インターバル撮影」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

「インターバル撮影」メニューが表示され、「撮影間隔」が選択されています。



4 撮影間隔を設定する

1. 十字キー（▶）を押す
   「分」の上下に▲▼が表示されます。
2. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す
   「秒」の上下に▲▼が表示されます。
3. 十字キー（▲▼）で秒を設定し、十字キー（▶）を押す
4. 十字キー（▼）を押す
   選択枠が「撮影枚数」に移動します。

5 十字キー（◀▶）で撮影枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「撮影開始時間」に移動します。

6 撮影開始時間を設定する

1. 十字キー（▶）を押す
   「時間」の上下に▲▼が表示されます。
2. 十字キー（▲▼）で時間を設定し、十字キー（▶）を押す
   「分」の上下に▲▼が表示されます。
3. 十字キー（▲▼）で分を設定し、十字キー（▶）を押す

7 OKボタンを2回押す

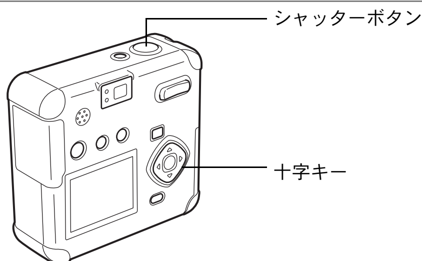
静止画を再生する☞p.26

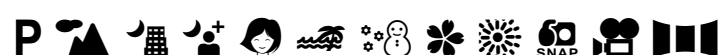


- 撮影間隔は、10秒から4分までの間は1秒単位で、4分から99分までの間は1分単位で設定することができます。10秒以下に設定することはできません。
- 撮影枚数は、2枚から99枚の範囲で設定可能です。
- 撮影開始時間は、0分から23時間59分の間で1分単位で設定することができます。
- 撮影開始時間を0分後に設定すると、シャッターボタンを押してすぐに1枚目の画像が撮影されます。
- カメラが待機中に電源スイッチを押すと、液晶モニタに残り撮影枚数と撮影間隔が表示されます。このときにMENUボタンを押すと「インターバル撮影を中止しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押してインターバル撮影を中止することができます。
- SD メモリーカードの容量が足りなくなった場合には、インターバル撮影が終了しカメラの電源が自動的に切れます。

注意

動画モード、パノラマアシストモードでは、インターバル撮影はできません。

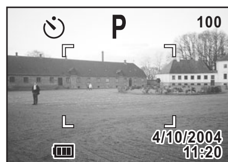




セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後に撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押して、液晶モニタに⏲を表示させる



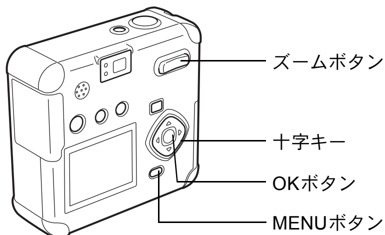
2 シャッターボタンを全押しする

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。



- 液晶モニタに撮影までの秒数がカウントダウン表示されます。
- カウントダウン表示中に十字キーや MENU ボタンなどのボタンを押すと、セルフタイマーは解除されます。

静止画を再生する☞p.26





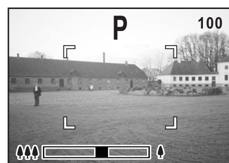
ズームを使って撮影する

ズームを使って望遠／広角撮影ができます。

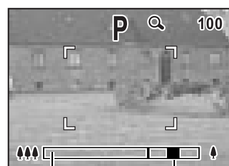
1　撮影モードでズームボタンを押す

望遠：被写体が大きく写ります。
広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、2.8倍までの光学ズーム撮影となります。
デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大11.2倍相当まで拡大して撮影できます。



デジタルズームオフ時



デジタルズームオン時

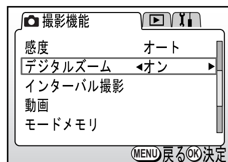
設定したズーム位置を保存する☞p.66

デジタルズーム機能をオンにする

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影設定」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ



3　十字キー（▶）押してオンを選ぶ

4　OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン/オフを保存する☞p.66

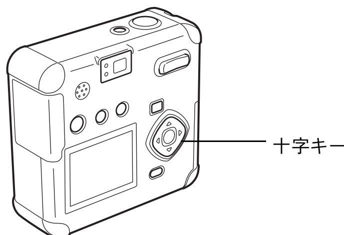
注意

「動画モード」使用時の注意

- 動画モードでは撮影中はデジタルズームのみになり、光学ズームは使用できません。ただし撮影前には光学ズームも使用できます。
- 記録サイズが「640×480」の場合は、ズーム（光学ズーム、デジタルズームとも）は使用できません。



4 撮影



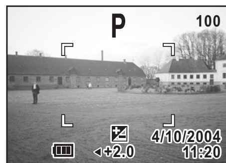


露出を補正する

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影するときに露出補正をします。

1　撮影モードで十字キー（◀▶）を押す

明るくする場合は＋側を、暗くする場合は－側を設定します。



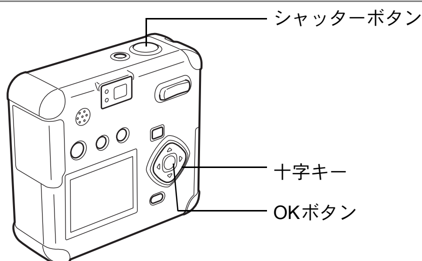
設定した値が液晶モニタに表示されます。



一度だけ十字キー（◀▶）を押した場合や±0に設定した場合は、2秒で表示が消えます。

露出補正値を保存する☞p.66

4
撮影



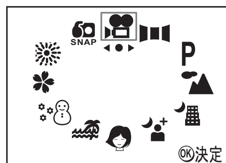
動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度に撮影できる時間は、画面右上に表示されます。音声も同時に記録されます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

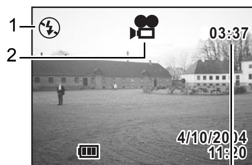
バーチャルモードダイヤルが表示されます。

2　十字キー（◀▶）で動画モード（🎥）を選ぶ



3　OKボタンを押す

1 発光禁止マーク
2 動画モードアイコン
3 残りの撮影可能時間



4　シャッターボタンを全押しする

撮影が開始されます。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

♠　被写体が大きく写ります。
♠♠♠　被写体が小さく写ります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影が終了します。残り撮影可能時間が表示されます。

4 撮影

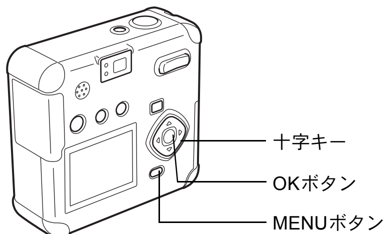
シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画を再生する☞p.76

注意

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影、インターバル撮影はできません。
- 動画モードで設定できるフォーカスモードは、「オートフォーカスモード」のみです。
- 動画モードでは、デジタルズームが自動的にオンになります。ただし、記録サイズを「640×480」（p.62）に設定している場合、デジタルズームはオフになります。
- 記録サイズを「640 × 480」に設定し（p.62）かつ、フレームレートを「30 fps」に設定（p.64）して動画を撮影する場合は、高速タイプ（10 MB/S）のSDメモリーカードをご使用ください。標準速タイプ（2 MB/S）を使用すると、撮影が途中で停止してしまいます。





記録サイズを変えて動画を撮影する

動画の記録画素数を「640×480」「320×240」「160×120」から選べます。画素数が多くなるほど画像が大きくなり、撮影可能時間は短くなります。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

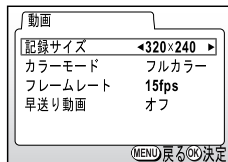
「撮影機能」メニューが表示されます。

2　「撮影機能」メニューの「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）で記録サイズを切り替える



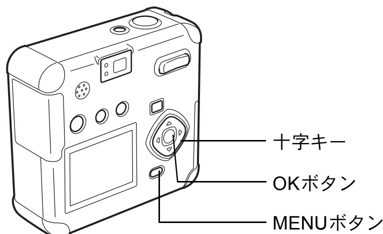
5　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画を撮影する☞p.60

注意

- 動画モードでは、デジタルズームが自動的にオンになります。ただし、記録サイズを「640×480」に設定している場合、デジタルズームはオフになります。
- 記録サイズを「640×480」に設定し、かつ、フレームレートを「30 fps」に設定（p.64）して動画を撮影する場合は、高速タイプ（10 MB/S）のSDメモリーカードをご使用ください。標準速タイプ（2 MB/S）を使用すると、撮影が途中で停止してしまいます。





カラーモードを変えて動画を撮影する

カラーモードでは、フルカラー、白黒、セピアからモードを選んで動画の撮影を行ないます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

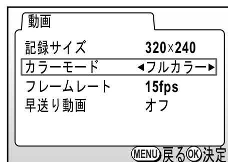
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

4 十字キー（▼）で「カラーモード」を選ぶ

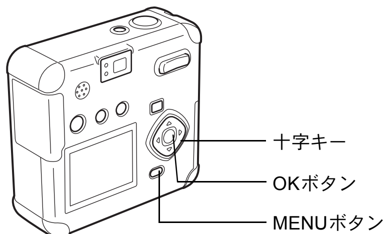


5 十字キー（◀▶）で「カラーモード」を切り替える

6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画を撮影する☞p.60





フレームレートを変えて動画を撮影する

4 撮影

フレームレート（1秒間に撮る画面回数：fps）を、15fpsと30fpsから選択できます。30fpsでは、15fpsの2倍のフレームになり、よりスムーズな動画となります。ただし、動画のサイズも2倍になるため、撮影可能時間は短くなります。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

2 「撮影機能」メニューの「動画」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

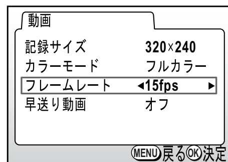
動画設定画面が表示されます。

4 十字キー（▼）を押して「フレームレート」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）でフレームレートを切り替える

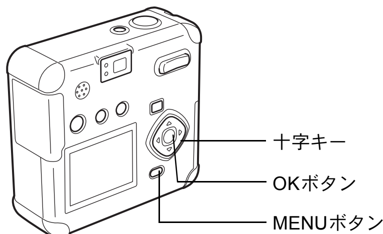
6 OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。



注意

- 動画モードでは、デジタルズームが自動的にオンになります。ただし、記録サイズを「640×480」(p.62）に設定している場合、デジタルズームはオフになります。
- 記録サイズを「640 × 480」に設定し（p.62）かつ、フレームレートを「30 fps」に設定して動画を撮影する場合は、高速タイプ（10 MB/S）のSDメモリーカードをご使用ください。標準速タイプ（2 MB/S）を使用すると、撮影が途中で停止してしまいます。





早送り動画を撮影する（早送り動画）

早送り動画を設定すると、フレームレート（1秒間に撮る画面回数）を遅らせて動画を撮影します。撮影した動画を再生すると、被写体が早送りされているように見えます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影機能」メニューが表示されます。

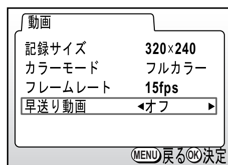
2　「撮影機能」メニューの「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画設定画面が表示されます。

4　十字キー（▼）を押して「早送り動画」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「オフ（×1）」「×2」「×5」「×10」「×20」「×50」「×100」を切り替える



6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。

動画を撮影する☞p.60



- オフ（×1）は通常の動画設定です。×2、×5と選ぶごとに1秒間に撮影される回数は1/2、1/5と減少していきます。
- 早送り動画の再生は常に15フレーム毎秒ですので、×2で撮影したものは2倍に、×5で撮影したものは5倍で早送りされるように見えます。
- 音声は録音されません。

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。「オン」を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。「オフ」を選ぶと、電源をオフにしたときに初期値に戻ります。

項目	内容	初期値
ストロボ	ボタンで設定したストロボモードを保存します。	☑
ホワイトバランス	「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	☐
露出補正	設定した露出補正値を保存します。	☐
デジタルズーム	「撮影機能」メニューの「デジタルズーム」での設定を保存します。	☑
測光方式	「撮影機能」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	☐
感度	「撮影機能」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	☐
フォーカス方式	設定したフォーカスモードを保存します。	☐
ズーム位置	設定したズーム位置を保存します。	☐
MF位置	マニュアルで設定したフォーカス位置を保存します。	☐
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑



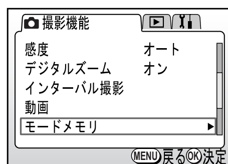
「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

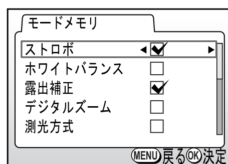


4　十字キー（▲▼）で「項目」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

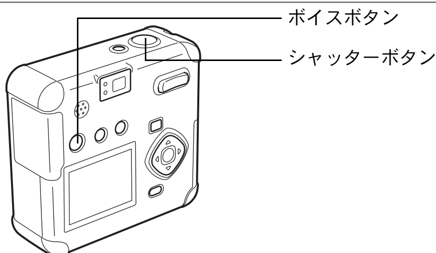
6　OKボタンを2回押す

撮影できる状態になります。



4
撮影

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）



音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1 撮影モードで🎙（ボイス）ボタンを押す



液晶モニタに録音可能な時間が表示されます。
① 残り録音可能時間　② 録音時間

2 シャッターボタンを全押しする

録音が開始されます。録音中は、🎙ボタンが点滅します。

3 シャッターボタンを全押しする

録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

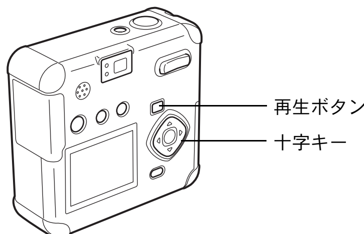
音声を再生する☞p.69



- 音声はモノラルPCMのWAVEファイルで記録されます。
- 録音した音声は、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定することができます。

カメラで録音した音を起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定する☞p.97

音声を再生する

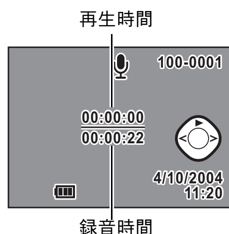


ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



●再生中にできる操作

十字キー（◀）	押している間、音声を巻き戻しする
十字キー（▶）	押している間、音声を早送りする
十字キー（▲）	再生を一時停止する
ズーム/▦/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

画像に音声を付ける

撮影した画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

ボイスメモが付いていない画像の場合、液晶モニタに🎙スタートの表示がされます。

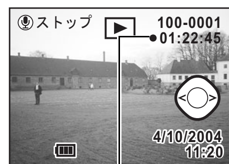


2　🎙ボタンを押す

ボイスメモの録音が開始します。
録音中は、液晶モニタに録音できる時間が表示されます。

3　🎙ボタンを押す

ボイスメモが終了します。



録音時間

4　十字キー（▼）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

5　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生が停止します。





- プロテクト（⊶）されている画像にボイスメモを付けることはできません。
- ボイスメモの付いた画像には、液晶モニタに♪が表示されます。
- 録音した音声は、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定することができます。

カメラで録音した音を起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定する☞p.97

伝言メッセージを設定する

ボイスメモを付けた画像と音声を、伝言メッセージとして残しておくことができます。伝言メッセージ設定中は🎙ボタンが点滅して、カメラにメッセージが残されていることを知らせます。

再生モードで設定する

1　再生モードに入り、ボイスメモの付いた画像の中から、十字キー（◀▶）で伝言メッセージに設定したい画像を選ぶ

ボイスメモの付いた画像には、[♪]が表示されています。



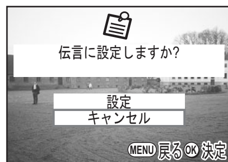
2　🎙ボタンを押す

「伝言に設定しますか?」と表示されます。

3　十字キー（▲）で「設定」を選ぶ

4　OKボタンを押す

「伝言を設定しました」と表示され、🎙ボタンが点滅し待機状態になります。



再生機能メニューで設定する

「伝言メッセージ」の機能は、「▶再生機能」メニューからも設定できます。

1　再生モードに入り、MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▼）を押して「伝言モード」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

伝言画像選択画面が表示されます。

4　十字キー(◀▶)を押して伝言メッセージを設定する画像を選ぶ

十字キーで送られる画像は、ボイスメモ♪の付いた画像のみです。



5　OKボタンを押す

「伝言を設定しました」と表示され、🎙ボタンが点滅し待機状態になります。

伝言メッセージを再生する

伝言メッセージを再生します。

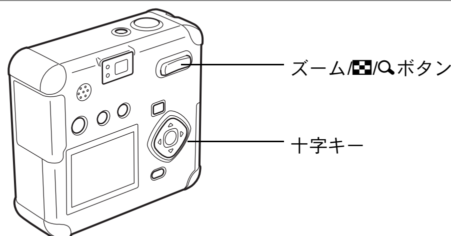
1　🎙ボタンを押す

画像が表示されボイスメモが再生されます。



- 伝言メッセージの設定中（待機中）でも、電源を入れると、通常の操作を行なうことができます。
- 伝言メッセージを再生後、撮影モードに切り替えるには、電源を切ってから再度入れます。

画像を再生する



静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」(p.26)、「前後の画像を再生する」(p.26)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を8倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/⊞/🔍ボタンの♠/🔍を押す



画面が大きく（1.1倍～8倍）表示されます。押し続けると、連続的に大きさが変わります。

- **拡大表示中にできる操作**

十字キー（▲▼◀▶）	拡大位置を移動する
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠）	画像を大きくする
ズーム/⊞/🔍ボタン（♠♠♠）	画像を小さくする

3 OKボタンを押す

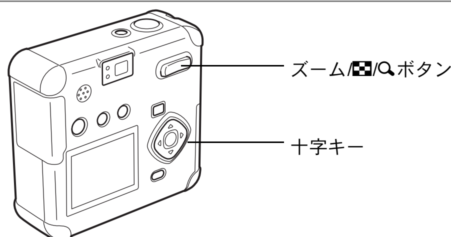
拡大再生が終了します。



動画は拡大表示できません。

メモ

「詳細設定」メニューの「クイック拡大」をオンに設定していると、一度のズーム操作で8倍に拡大表示されます。



9画像ずつ表示する

撮った画像を一つの画面に9枚まで同時に表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズーム/⊞/🔍ボタンの♦♦♦/⊞を押す

画像が小さなコマで一度に9コマまで表示されます。
十字キー（▲▼◀▶）で画像が選べます。10枚以上の画像が記録されている場合、右下の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次の9画像が表示され、左上の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前の9画像が表示されます。また、上の列の画像を選択しているときに十字キー（▲）を押すと前の9画像が表示され、下の列の画像を選択しているときに十字キー（▼）を押すと次の9画像が表示されます。

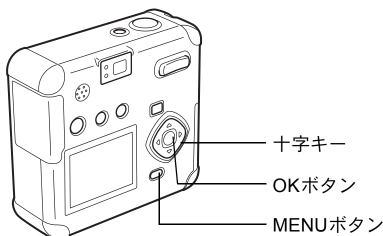

選択画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が1枚表示されます。
動画は、1コマ目の画像が表示されます。



- 音声ファイルは🎤で表示されます。
- 動画は🎥とともに、先頭のコマが表示されます。



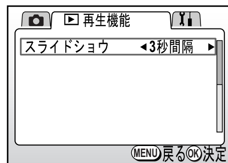
スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。



3　十字キー（▼）で「スライドショウ」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で再生時間を切り替える

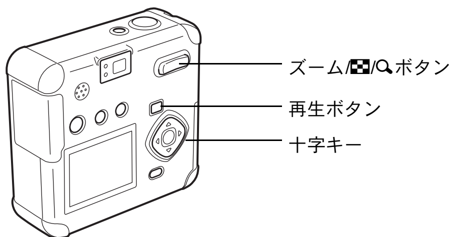
3秒間隔、5秒間隔、10秒間隔、20秒間隔、30秒間隔から選択できます。

5　OKボタンを押す

設定した時間で再生が開始します。



- 連続再生中に十字キーやMENUボタンなどのボタンを押すと、スライドショウが停止します。
- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらずすべて再生されてから、次の再生に移ります。



動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタに操作ガイドが表示されます。音声も同時に再生されます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。



- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	逆方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
ズーム/▦/🔍ボタン（♠）	音量を大きくする
ズーム/▦/🔍ボタン（♠♠♠）	音量を小さくする

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）

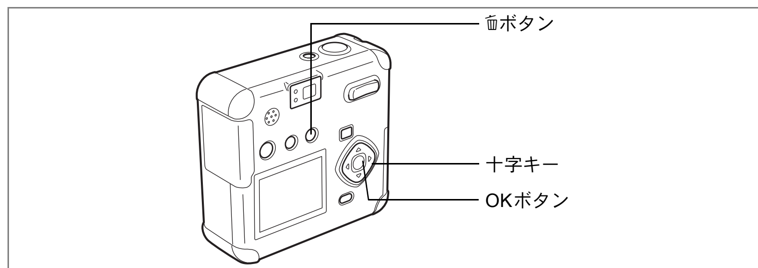
3　十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

4　再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

画像を消去する



1つずつ消去する

保存されている画像または音声を、1つずつ消去します。

注意
- 消去した画像・音声は復元できません。
- プロテクトされている画像・音声は消去できません。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・音声を選ぶ

2 ボタンを押す

消去画面が表示されます。



3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す



- 画像の消去は、クイックビュー（p.25）で画像表示中に行なうこともできます。
- 「詳細設定」メニューの「クイック消去」をオンに設定していると、手順3の操作を省略できます。

6 再生・消去

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの（[♪]が表示された）画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを消去したい画像を選ぶ

2　🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

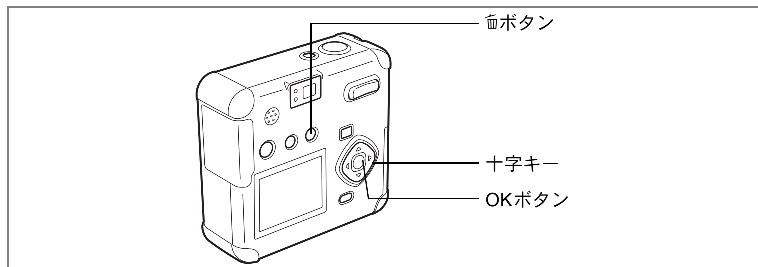


3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す



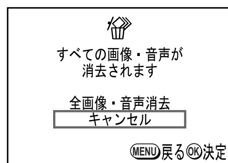
画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。



まとめて消去する

保存されている全画像・音声を消去します。

注意
- 消去した画像・音声は復元できません。
- プロテクトされている画像・音声は消去できません。



1　再生モードに入り、🗑ボタンを2 回押す

全画像・音声消去画面が表示されます。

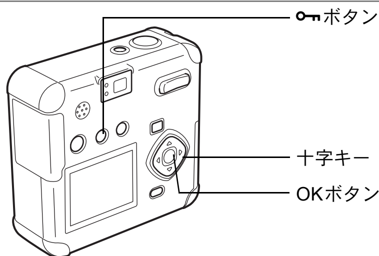
2　十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す



- 「詳細設定」メニューの「クイック消去」をオンに設定していると、手順2の操作を省略できます。

6 再生・消去



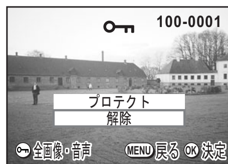
消去できないようにする（プロテクト）

画像・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・音声を選ぶ

2　O┳ボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。



3　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

画像または音声にプロテクトがかかります。プロテクトされた画像・音声には、再生時にO┳が表示されます。



プロテクトを解除するには、手順**3**で「解除」を選びます。

6 再生・消去

全画像・音声をプロテクトするには

全画像・音声をプロテクトすることができます。

1　再生モードに入る

2　O┳ボタンを2回押す

全画像・音声プロテクト画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「プロテクト」を選ぶ

4　OKボタンを押す

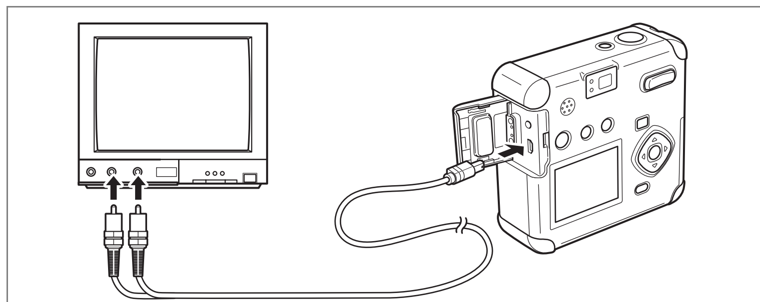


手順3で「解除」を選ぶと、全画像・音声のプロテクト設定が解除されます。



プロテクトされた画像・音声もSDメモリーカードをフォーマットすると消去されます。

テレビで画像を見る



AVケーブルを使用すると、テレビなど、AV入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1　端子カバーを開き、AVケーブルを接続する

2　AVケーブルの音声端子（白）と映像端子（黄色）を、テレビの音声入力端子（白）と映像入力端子（黄色）へそれぞれ接続する

3　テレビとカメラの電源を入れる

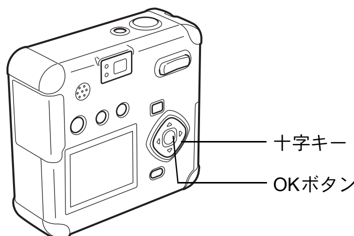
ビデオの出力方式を選択する☞p.103



テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC5J（別売）のご使用をおすすめします。テレビ等接続する機器の使用説明書もご覧ください。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SD メモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。



1画像ずつ設定する

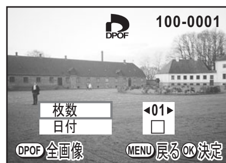
各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数:プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
●日付:プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。

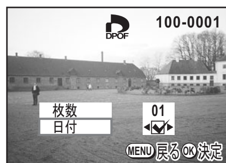


3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定し、十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

4　十字キー（◀▶）で日付の ☑「オン」と□「オフ」を設定する

オン　プリントに日付を入れます。
オフ　プリントに日付を入れません。



5 OKボタンを押す

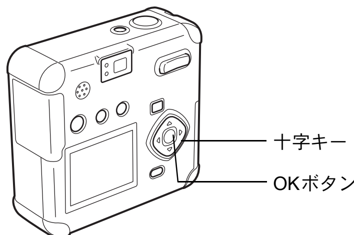
設定した値でプリントできます。



- 枚数は1～99枚まで設定できます。
- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン/オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「00」に設定して、OKボタンを押します。



- 動画と音声ファイルはDPOF設定できません。
- プリンタやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▲）を押す

DPOF画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押す

DPOF（全画像）画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。



4　十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

5　十字キー（◀▶）で日付のオンとオフを設定する

オン　プリントに日付を入れます。
オフ　プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。



- 全画像設定を行なうと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。
- 動画はDPOF設定できません。
- 全画像設定でプリント枚数を00枚に設定すると、DPOF設定は解除されます。

カメラを直接プリンタにつないでプリントする

カメラを付属のUSBケーブル（I-USB7）でPictBridge対応プリンタに接続すると、パソコンを介さずに、カメラからプリンタへダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンタを接続した状態で、カメラ側で設定を行います。1画像ずつプリント、全画像プリント、プリントサービス（DPOF）の設定内容でプリントの3つの方法があります。

注意

カメラをプリンタに接続するときは、ＡＣアダプタキットK-AC5J(別売)のご使用をお奨めします。プリンタと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンタが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。

メモ

プリンタの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOFの設定など）の一部、またはすべてが反映されないことがあります。

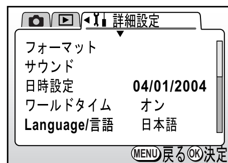
カメラをプリンタに接続する

1 再生モードに入り、MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▶）を押す

「詳細設定」メニューが表示されます。



3 十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ

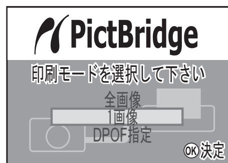
4 十字キー（◀▶）で「PictBridge」を選ぶ

5 OKボタンを押す

プリンタに接続できる状態になります。

6 カメラを付属の USB ケーブルでプリンタに接続する

印刷モード選択画面が表示されます。



メモ

PictBridge対応プリンタに接続すると、ファインダーのLEDが点灯し、接続音が鳴ります。

7 プリント

1画像ずつプリントする

1　印刷モード選択画面で、十字キー（▲▼）を押して「1画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ



4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

10枚まで設定ができます。

5　▶ 再生ボタンで日付の ☑（オン）／□（オフ）を選ぶ

再生ボタンを押すたびに、日付のオンオフが切り替わります。

6　OKボタンを押す

設定した条件でプリントされます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと印刷前の画面に戻り、続けてプリントすることができます。

7　プリントを終了するときは、MENUボタンを押す

「USBケーブルを取り外しできます」とメッセージが表示されます。

すべての画像をプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「全画像印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）を押すと、画像を確認することができます。

3　十字キー（▲▼）で各画像プリントする枚数を選ぶ

10枚まで設定ができます。



4　▶ 再生ボタンで日付の ☑（オン）／□（オフ）を選ぶ

再生ボタンを押すたびに、日付のオンオフが切り替わります。

5　OKボタンを押す

設定した条件でプリントされます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと印刷前の画面に戻り、続けてプリントすることができます。

6　プリントを終了するときは、MENUボタンを押す

「USBケーブルを取り外しできます」とメッセージが表示されます。

プリントサービス（DPOF）の設定内容でプリントする

1　印刷モード選択画面で、十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定印刷」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷の画面が表示されます。
十字キー(◀▶)で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ



4　OKボタンを押す

選んだ画像に設定されているプリントサービスの設定内容でプリントできます。
プリントが終了すると、「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと印刷前の画面に戻り、続けてプリントすることができます。

5　プリントを終了するときは、MENUボタンを押す

「USBケーブルを取り外しできます」とメッセージが表示されます。

プリンタからカメラを取り外す

1　カメラを電源オフにする

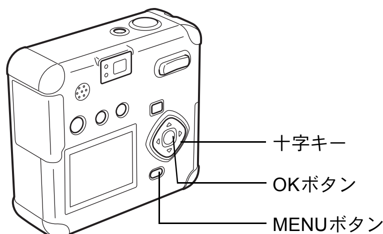
2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンタからUSBケーブルを取り外す



「続けて印刷しますか？」とメッセージが表示されているときにMENUボタンを押すと、「USBケーブルを取り外しできます」とメッセージが表示されます。
カメラの電源がオンの状態で、カメラからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に撮影モードに切り替わります。

画像を編集する



画像のサイズを変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。サイズを変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

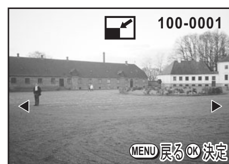
1　再生モードに入り、MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「リサイズ」を選ぶ

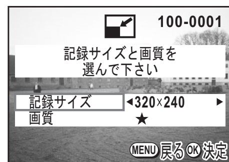
3　十字キー（▶）を押す

リサイズ画面が表示されます。



4　十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す



6　十字キー（◀▶）で「記録サイズ」を選ぶ

7　十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

8　十字キー（◀▶）で「画質」を選ぶ

9　OKボタンを押す

10　十字キー（▲▼）で「上書き保存」「新規保存」を選ぶ

11　OKボタンを押す

画像がリサイズされます。



- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　再生モードに入り、MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「トリミング」を選ぶ

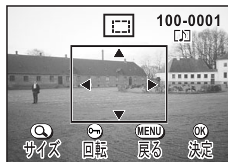
3　十字キー（▶）を押す

トリミングできる画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ

5　OKボタンを押す

トリミング画面が表示されます。



6　トリミングする

●トリミング画面でできる操作

ズーム/⊞/🔍ボタン	画像のサイズを変える
O━（プロテクト）ボタン	トリミング枠を回転させる
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	トリミングする画像を選択する画面に戻る

7　OKボタンを押す

8　十字キー（◀▶）でトリミング後の画質を選ぶ

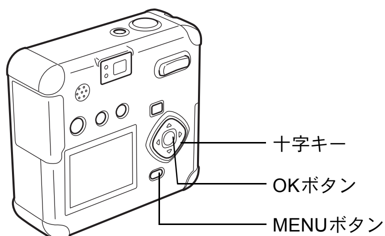
9　OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。





- 動画をトリミングすることはできません。
- 元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。



デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルタには、赤、青、緑などさまざまな色をした色フィルタ、ソフト効果を出すソフトフィルタ、明るさを調節する明るさフィルタがあります。デジタルフィルタモードでは、これらのフィルタを使用して画像を編集できます。

● 色フィルタについて

色フィルタには、白黒、セピア、赤、桃色、紫、青、緑、黄色の8種類のフィルタがあります。色フィルタを選択すると、液晶モニタにはそれぞれの色フィルタの色味がかかった画像が表示され、その色で画像が保存されます。

● ソフトフィルタ

ソフトフィルタを使用すると、画像をソフトな調子に仕上げて保存できます。

● 明るさフィルタ

明るさフィルタを使用すると、画像全体を明るく/暗くして保存できます。

1 再生モードに入り、MENUボタンを押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルフィルタ」を選ぶ

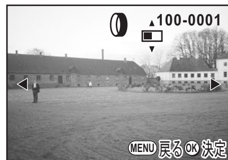
3 十字キー（▶）を押す

デジタルフィルタが設定できる画面が表示されます。

4 十字キー（◀▶）で編集する画像を選ぶ

5 十字キー（▲▼）でデジタルフィルタを選ぶ

液晶モニタにフィルタがかかった画像が表示されます。



●明るさフィルタでできる操作

ズーム／▦／🔍ボタン（♠）　　画像を明るくする
ズーム／▦／🔍ボタン（♠♠♠）　画像を暗くする

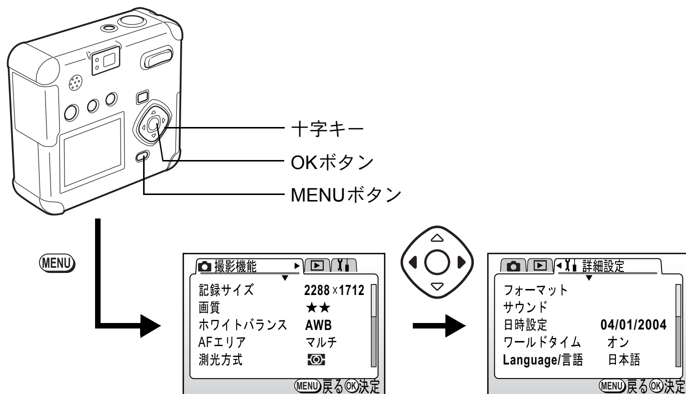
6 OKボタンを押す

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

デジタルフィルタで編集された画像が保存されます。

カメラの設定をする



SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。

注意
- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行なってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

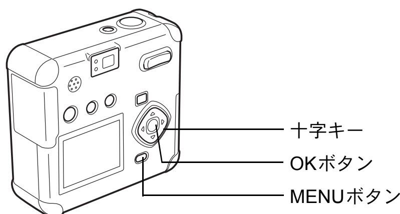
フォーマット画面が表示されます。

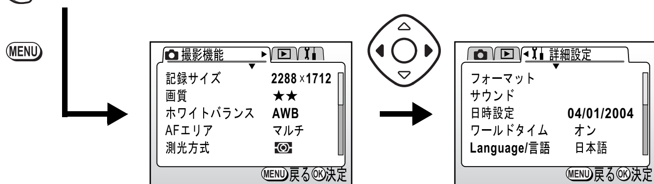
3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

「詳細設定」メニューの呼び出しかた





サウンドの設定を変更する

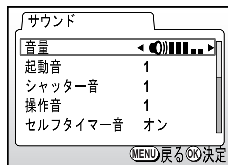
起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の音量を変更することができます。起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音ごとに、音の種類を変更することもできます。

音量を変更する

1 「詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。



3 十字キー（◀▶）を押して音量を切り替える

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の種類を変更する

1　「🔧詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して、種類を変更する音を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「1」「2」「3」「オフ」を切り替える

セルフタイマー音は「オン」「オフ」のいずれかを選びます。
音の種類は切り替えるごとに再生されます。

5　OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

カメラで録音した音を起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定する（カスタマイズ）

ボイスレコーディングモードやボイスメモで録音した音（音声ファイル）を、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音に設定することができます。

1　「🔧詳細設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して、種類を変更する音を選ぶ

4　🎤ボタンを押す

カスタマイズ画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で設定する音声ファイルを選ぶ

音声ファイルの種類は「ファイルNo.」で表示されます。十字キー（▲）を押すと、音声を確認することが出来ます。

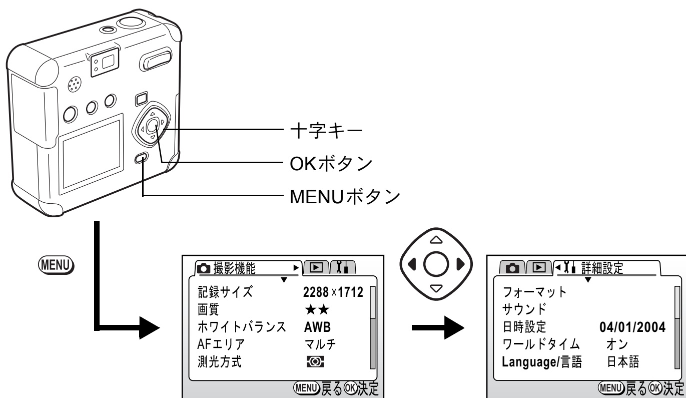
ファイルNo.



6　OKボタンを3回押す

撮影または再生できる状態になります。

9
設定



日付の表示スタイル・日付/時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

日時の設定方法は「初期設定をする」（p.21）をご覧ください。

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」（p.21）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。
「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニタに設定した国・地域の日時で表示できます。

1　「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ワールドタイム設定画面が表示されます。



3　十字キー（◀▶）で☑と☐ を切り替える

☑ ワールドタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。
☐ ホームタイムで選択した国・地域の時刻表示になります。

4　十字キー（▼）を押す

ワールドタイムを設定します。
はじめに東京がワールドタイムの対象地域として選択されます。このとき、✈には東京の記号名（TYO）と現地時刻が表示されます。

5　十字キー（◀▶）でワールドタイムの都市を選び、十字キー（▼）を押す

6　十字キー（◀▶）で「夏時間」のオン（☼）とオフ（☼）を切り替え、十字キー（▼）を押す

ホームタイムを設定します。
はじめに東京（TYO）がホームタイムの対象地域として選択されます。
手順5、6を繰り返してホームタイムの都市や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

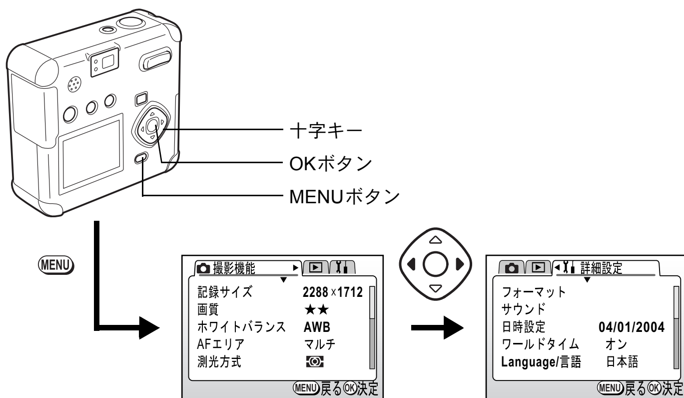
7　OKボタンを2回押す

設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。



指定できる都市および都市の記号名については、p.109をご覧ください。

9 設定



表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

言語設定画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で言語を切り替える

4 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

USB接続時の転送モードを設定する

USB接続時の転送モード（PC／PictBridge）を設定します。

1 「詳細設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「PC」「PictBridge」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

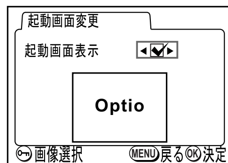
起動画面を変更する

カメラで撮影した画像を、カメラの電源を入れたときに、起動画面として表示させることができます。

1　「🔧詳細設定」メニューで「画面設定」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。



3　十字キー（▶）を押す

起動画面変更画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える

☑　起動画面を表示します
□　起動画面を表示しません

5　⚡ボタンを押す

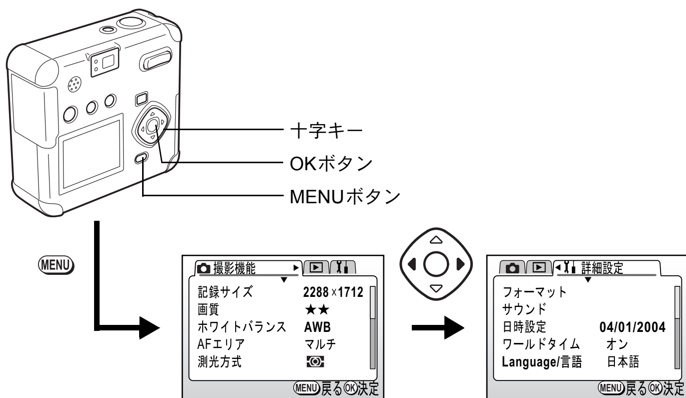
6　十字キー（◀▶）を押して、起動画面として表示する画像を選ぶ

7　OKボタンを4回押す

撮影または再生できる状態になります。



一度設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカードをフォーマットしても消去されません。消去する場合は設定をリセットしてください。（☞p.105）



背景色を設定する

メニュー画面のデザイン色を設定します。

1 「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。

3 十字キー（▼）で「背景色」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で背景色を選ぶ

6種類の色から選択できます。

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

画面の明るさを設定する

液晶モニタ画面の明るさを設定します。

1 「詳細設定」メニューの「画面設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

画面設定画面が表示されます。

3 十字キー（▼）で「LCDの明るさ」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で明るさを選ぶ

7段階の明るさから選択できます。

5 OKボタンを2回押す

撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力形式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）でモニタにするテレビの出力方式に合わせて、「NTSC」「PAL」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



日本国内では、NTSC方式です。

クイック消去をオン／オフする

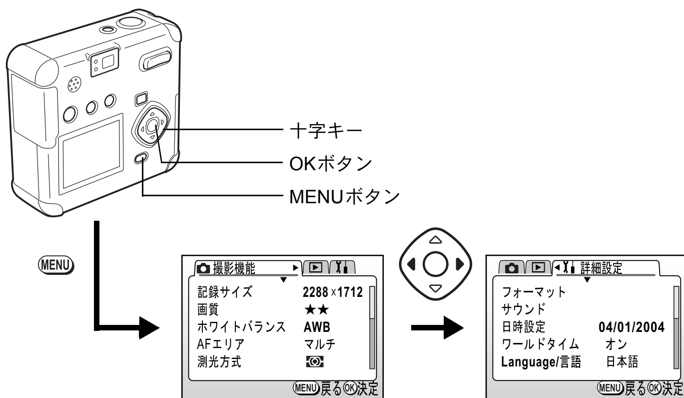
クイック消去をオンに設定すると、「消去」「全画像・音声消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。

1 「詳細設定」メニューの「クイック消去」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンを一度押しただけで画像を最大倍率（8倍）で再生するように設定します。

1 「詳細設定」メニューの「クイック拡大」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

クイック起動をオン／オフする

クイック起動をオンに設定すると、電源オフの状態からシャッターボタンを押すだけで起動してスナップモードで撮影できます。

1 「詳細設定」メニューの「クイック起動」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で「オン」「オフ」を切り替える

3 OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。

オートパワーオフ

一定時間操作しないときに、自動的に電源がオフになるように設定できます。

1　「🔧詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替える

3　OKボタンを押す

撮影または再生できる状態になります。



USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

設定をリセットする

日時設定、Language/言語、ビデオ出力、日付設定、ワールドタイム以外の設定内容をリセットします。

1　「🔧詳細設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

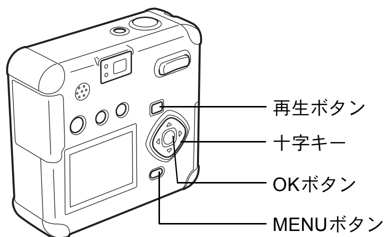
3　十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4　OKボタン を押す

撮影または再生できる状態になります。

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、指定した画像を表示できます。



アラームを確認する

1　MENUボタンを押す

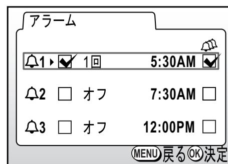
2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

アラーム一覧が表示されます。
オンのアラームは☑で表示されます。



5　OKボタンを2回押します。

オンのアラームがあるときは、電源がオフになり、アラームがセットされます。

9
設定

アラームを設定する

1　MENUボタンを押す

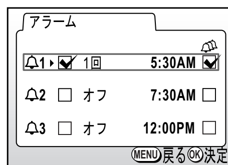
2　十字キー（▶）を押す

「▶再生機能」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）を押して「アラーム」を選ぶ

4　十字キー（▶）を押す

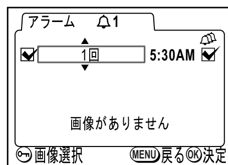
アラーム一覧が表示されます。



5　十字キー（▲▼）で1～3を選ぶ

6　十字キー（▶）を押す

動作モードと時刻を設定する画面が表示されます。



7　十字キー（▲▼）を押して、アラームを鳴らす回数を選ぶ

毎日　毎日、設定した時刻に鳴るようにします
1回　設定した時刻に1回だけ鳴るようにします
オフ　アラームが鳴らないようにします

8　十字キー（▶）を押す

9　十字キー（▲▼）を押して、アラームを鳴らす時刻（時）を設定する

10　手順8、9を繰り返して、アラームを鳴らす時刻（分）と、（スヌーズ）の☑（オン）□（オフ）を設定する

スヌーズを☑に設定すると、5分間隔で5回アラームが鳴ります。

11　⚡（ストロボ）ボタンを押す

12　十字キー（◀▶）を押して、アラーム時に表示する画像を選ぶ

13　OKボタンを押す

14　OKボタンを3回押す

「アラームを設定しました」と表示され、電源がオフになります。



電源をオフにしているときに指定した時刻になると、アラームが1分間鳴ります。鳴り終わると自動的に電源がオフになります。

アラームを停止する

1　アラームが鳴っているときに、いずれかのボタンを押す

アラームが停止します。



スヌーズを終了するには、MENUボタンとOKボタンを同時に押します。



アラームは電源がオンのときには鳴りません。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市、および都市の記号名です。

都市名	記号名	都市名	記号名
東京	TYO	ヨハネスブルグ	JNB
グアム	GUM	イスタンブール	IST
シドニー	SYD	カイロ	CAI
ヌーメア	NOU	エルサレム	JRS
ウェリントン	WLG	モスクワ	MOW
オークランド	AKL	ジッダ	JED
パゴパゴ	PPG	テヘラン	THR
ホノルル	HNL	ドバイ	DXB
アンカレジ	ANC	カラチ	KHI
バンクーバー	YVR	カブール	KBL
サンフランシスコ	SFO	マーレ	MLE
ロサンゼルス	LAX	デリー	DEL
カルガリー	YYC	コロンボ	CMB
デンバー	DEN	カトマンズ	KTM
メキシコシティ	MEX	ダッカ	DAC
シカゴ	CHI	ヤンゴン	RGN
マイアミ	MIA	バンコク	BKK
トロント	YTO	クアラルンプール	KUL
ニューヨーク	NYC	ビエンチャン	VTE
サンティアゴ	SCL	シンガポール	SIN
カラカス	CCS	プノンペン	PNH
ハリファックス	YHZ	ホーチミン	SGN
ブエノスアイレス	BUE	ジャカルタ	JKT
サンパウロ	SAO	香港	HKG
リオデジャネイロ	RIO	パース	PER
マドリッド	MAD	北京	BJS
ロンドン	LON	上海	SHA
パリ	PAR	マニラ	MNL
ミラノ	MIL	台北	TPE
ローマ	ROM	ソウル	SEL
ベルリン	BER	アデレード	ADL

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質/サイズを変えて、もう一度撮影してください。
アラームを設定しました	アラームを設定して、カメラの電源が自動的にオフになるときに表示されます。
インクがありません	プリンタのインクがありません。（PictBridge対応プリンタとUSB接続時）
画像・音声がありません	SDメモリーカードに再生できる画像・音声が保存されていません。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.95）
カードがロックされています	SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.19）
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードが入っていません	カメラにSDメモリーカードがセットされていません。（p.16）
カード空き容量なし	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像・音声が保存されていて、これ以上画像・音声を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像・音声を消去してください。（p.16、77） 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.38、39）
記録中です	画像・音声をSDメモリーカードに記録しています。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
消去中です	SDメモリーカードに保存されている画像・音声を消去しています。
設定を記録中です	画像・音声のプロテクト設定やDPOF設定を記録しています。
設定を正しく保存できませんでした	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像・音声が保存されていて、DPOFの設定がこれ以上できません。不要な画像．音声を消去してから、設定をやり直してください。
データエラーです	プリンタがデータを処理できませんでした。（PictBridge対応プリンタとUSB接続時）

電池容量がなくなりました	電池残量がありません。電池を交換してください。(p.13)
フォーマット中	SDメモリーカードをフォーマット中です。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像・音声を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。(p.16、95)
プリンタエラーです	プリンタにエラーが発生しました。(PictBridge対応プリンタとUSB接続時)
プロテクトされています	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
用紙がありません	プリンタに用紙がありません。(PictBridge対応プリンタとUSB接続時)

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池/カードカバーが開いている	電池/カードカバーを閉じてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.13）
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	USBケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	SDメモリーカードに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.16、p.77）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の[ ]（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷にセットしてください（p.35）
	フォーカスモードが🌷になっている	フォーカスモードが🌷にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。バーチャルダイヤル画面で夜景や夜景ポートレートモードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.49）
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは⚡に設定してください。（p.37）
	撮影モードが動画にセットされているか、連続撮影、▲モード、または☼モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

10

付録

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプ生活防水デジタルスチルカメラ	
有効画素数	400万画素	
撮像素子	総画素数423万画素、原色フィルタ/インターライントランスファー 1/2.7型CCD	
記録画素数	静止画	2288×1712ピクセル、1600×1200ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	動画	640×480ピクセル、320×240ピクセル、160×120ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO50相当、ISO100相当、ISO200相当、ISO400相当）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching II対応
	動画	MOV（Quick Time Motion JPEG準拠）、約30フレーム/秒、15フレーム/秒、音声付、フルカラー、セピア、白黒切換え可、音声あり
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	SDメモリーカード	

撮影枚数

記録サイズ ＼ 画質	S.ファイン	ファイン	エコノミー	ボイスレコーディング
2288×1712	約5枚	約10枚	約15枚	約30分
1600×1200	約11枚	約20枚	約27枚	
1024× 768	約25枚	約45枚	約56枚	
640× 480	約53枚	約82枚	約100枚	

- 表の数値は16MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数

動画

記録サイズ ＼ フレームレート	30 フレーム／秒	15 フレーム／秒
640×480	約 10 秒	約 25 秒
320×240	約 20 秒	約 40 秒
160×120	約 1 分 20 秒	約 2 分 30 秒

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	5.7mm～16mm（35mmフィルム換算：37～104mm相当）
	F値	F2.8～F3.9
	レンズ構成	7群10枚（非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	16.8mm×12.4mmを画面一杯に撮影可能（テレ端でマクロモードおよびマニュアルフォーカス時）
デジタルズーム	撮影時：	最大約4倍（光学2.8倍ズームと合わせ、最大約11.2倍ズーム相当のズーム倍率）
ファインダー	方式： 倍率：	実像式光学ズームファインダー ワイド0.3×、テレ0.71×

液晶モニタ	1.6型TFTカラー LCD、約8.5万画素	
再生機能	1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍）、スクロール、スライドショウ、ムービー再生、音声再生、ヒストグラム表示、トリミング、リサイズ、デジタルフィルタ	
オートフォーカス方式	方式	撮影素子によるTTLコントラスト検出方式
	撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：0.3m～∞（ズーム全域） マクロ：0.01m～0.5m（ワイド端） 遠景：∞（ズーム全域）
	フォーカスロック	シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.01m～∞（ワイド側）、0.2m～∞（テレ側）	
露出機構	測光方式	撮影素子によるＴＴＬ測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	プログラム、ピクチャーモード、動画、パノラマアシスト、ボイスレコーディング	
動画	撮影時間約1秒～メモリーカードの容量いっぱいまで撮影可能	
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒
ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	撮影範囲	ワイド　約0.1m～約2.9m（感度オート） テレ　約0.5m～約2.1m（感度オート）
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影、連続撮影、マルチ連写、インターバル撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界62都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	リチウム電池CR-V3、単3型電池2本、（アルカリ、ニッケル水素、リチウム）、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約500枚	（ストロボ使用率50％；リチウム電池CR-V3を使用した場合） ※撮影可能枚数は当社撮影条件による目安です
入出力ポート	USB/AV端子（PC通信方式USB1.1）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
ダイレクトプリント	PictBridge対応	
大きさ	81.5（幅）×76（高）×30.5（厚）mm（小突起除く）	
質量	160 g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	208 g（電池、SDメモリーカード含む）	
付属品	単3電池2本、AVケーブル、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、使用説明書、保証書	

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC5J

USBケーブル I-USB7（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

ストラップ O-ST5（※）

（※）の製品は、カメラの同梱品と同じものです。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センターまたは、お客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかりと梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社のお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行なわれた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社のお客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、当社のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。
TEL 0120-737-919（フリーダイヤル）TEL 03-3975-4314（携帯・PHS用）
（受付時間：土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く9：00～17：00）
インターネット受付
URL：http://www.pentax.co.jp/japan/p_menu/service/

索引

数字

A

D

L

M

O

P

S

U

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話、PHS の方は、下記の電話番号をご利用ください。
☎**03-3960-3200**（代） ☎**03-3960-0887** デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム ☎**03-3348-2941（代）**
〒 163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス札幌営業所お客様窓口 ☎**011-612-3231（代）**
〒 060-0010 札幌市中央区北 10 条西 18-36 ペンタックス札幌ビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス仙台営業所お客様窓口 ☎**022-371-6663（代）**
〒 981-3133 仙台市泉区泉中央 1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル 5 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス名古屋営業所お客様窓口 ☎**052-962-5331（代）**
〒 461-0001 名古屋市東区泉 1-19-8 ペンタックスビル 3 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス大阪営業所お客様窓口 ☎**06-6271-7996（代）**
〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス広島営業所お客様窓口 ☎**082-234-5681（代）**
〒 730-0851 広島市中区榎町 2-15 榎町ビュロー 1 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス福岡営業所お客様窓口 ☎**092-281-6868（代）**
〒 810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター ☎**03-3975-4341（代）**
〒 175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2 ペンタックス（株）流通センター内
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター ☎**06-6271-7996（代）**
〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階
営業時間午前 9：00 ～午後 5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒 100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57358 02-200404
Printed in Japan